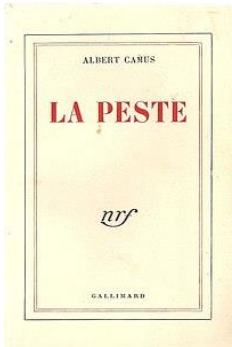


1年生で学ぶ社会の科目は「世界史」。歴史の中に、問題解決のヒントがある…？



新型コロナウイルスのパンデミックは、2022年まで収まらないだろうという専門家もいるほど感染者数、死者数が増え続けています。書店では、1947年に発表されたフランスの文豪アルベール・カミュの『ペスト』が急激に売り上げを伸ばしているそうです。黒死病（ペスト）が蔓延し封鎖されたアルジェリアの港町を舞台に、危機的な状況に立ち向かう医師や市民の姿を描いたものです。歴史は繰り返すと言われますが、その歴史を学ぶことは、現代人の抱える様々な問題の解決にも繋がります。大いに歴史を学びましょう。

<世界史について>

1年次の皆さん、あなた方は中学で、地理、歴史、公民という3科目を勉強してきました。成東高校で「地理歴史公民」の教科の中で勉強するのは次の通りです。

1年次…普通科、理数科ともに、「世界史」を履修

2年次…普通科は「日本史」または「地理」からどちらかを選択、理数科は全員「地理」を履修

3年次…普通科、理数科ともに、「政治経済」と「倫理」を全員が履修。

さらに選択科目として、「世界史」「日本史」「地理」を選ぶこともできる。



1年次で学習する「世界史」ですが、毎年のように大きくつまずく生徒が多数見られます。「歴史」は中学でやったこと、と思うかもしれませんが、**高校で学ぶ内容は中学とは比べものにならない濃い内容です。情報量が多く、授業の進み方も速い。**高校に入学して、少しのんびりなどと油断していると、テストで取り返しがつかないような点を取ってしまった、などと言うことも毎年のように起こっています。

また、大学受験はまだ先だし、1年で習う「世界史」は自分の受験には関係ないなどと気を緩める人もいますが、これも大間違い。「世界史」は、他の「地理」「政治経済」「倫理」もちろん「日本史」とも密接に関わっていて、「世界史」がわかっていないと2年次以降で大変苦労します。是非、しっかり取り組んでください。

でも、歴史は「暗記」することが多くて苦手とか、覚えればいいでしょ、と思っている人も多いでしょう。確かに、覚えることは必要ですが、それはどの教科にもいえること。「世界史」は人類が築いてきた社会や文化の記録であり、壮大な物語です。今、世の中がこうなっているのはなぜか、その答えが述べられているのです。そう考えるととてもわくわくする楽しい科目なのですが、中身を理解せず、ただ人名や事件・年代を暗記しようとしても、その膨大な量の前にパンクしてしまいます。

ではどのように勉強すればよいのか、「毎時間予習復習を」などとは言いません。

大切なのは、授業をしっかり聞いて理解すること。特に、変化の流れや、前後の因果関係をつかむこと。例えば、なぜ日本に鉄砲を伝えたのがポルトガル人だったのか？これもしっかりと世界史的な必然があります。このような糸をたぐっていくと実に面白い物語になるのですが、世界史を学ぶことはとても重要で楽しいことです。現在のグローバル化した世界では欠くことができない知識でしょう。

毎日の予習復習はなくてもいいですが、できれば、土日に今週やったことを振り返って確認するといいいと思います。ある程度のスパンでまとめておくと後で楽になります。そして、定期テストに対しては、早めに計画的に復習しましょう。一日や二日では時間が足りないということになります。

また、面白いと思うところは、だいたい小説や映画・劇などの作品になっているものです。興味を持ったら、そういった作品を読んだり見たりするのもいいと思います。

皆さんが、前向きに取り組んでくれることを期待しています。

